

三中だより

令和5年10月5日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和5年度第6号

大田区中央4-12-8

読書の秋、出会った一冊の本に、すっかり没頭してしまいました。日本の各地を旅した紀行文です。その内容は示唆に富んだものでした。この本には、ほとんど写真もなく、多くのページは字ばかりです。一瞬とつきにくそうな印象でありながら、読み進めていくと、本の世界に吸い込まれ、自分があたかもその地を旅しているような気持ちになりました。北海道から始まり東北、関東と、読み進めるにつれ、この旅の話はいつ書かれたものだろう、と気になりました。具体的な風景は浮かんでくるのですが、文中には日付は登場しません。さらに読み進め、最後にたどり着くと、あとがきに1956年と記載されていました。臨場感があり、生き生きと描かれているこの本が、60年以上も前の日本の風景を紹介してものだとは、思いもよらず、とても意外でした。作者は、前書きで、「ひとつの旅を文章化するためには、そこに作者のもつ独自の眼が必要である。」と述べています。作者の観察眼におどろき、文章の重厚さと時を感じさせない新鮮さに、すっかり引き込まれました。

旅は、その目的地に到達することだけが目的ではありません。行程はもちろん、到着した土地の

地勢や歴史、文化に触れることが、その体験をより一層思い出深いものにします。これまでにない新鮮な景色との出会いやその地域ならではの出会いなどさまざまな体験から、自分がまだ持ち合わせていない新しい経験を学びとることができます。それが自分自身を成長させることにつながります。ところで、学びを自分の成長につなげていくというサイクルは、旅に限ったことではありません。人が何かの体験をもとに成長していくことは、学校生活においてもよくあることです。

たとえば、いよいよ準備が始まろうとしている10月21日の合唱コンクールでは、楽譜の歌詞をたどることから始め、曲の背景に思いをはせて、曲想をつけていくところまで仕上げた歌を聞かせてくれます。何度も繰り返して歌い込んでいくことで、自分たちの合唱に仕上げていく、その過程で経験したことが自分たちの成長につながります。ぜひ合唱コンクールの舞台上、その取組の成果を披露してほしいと思います。保護者・地域のみなさまにも、生徒たちの成長した姿をご覧いただき、励ましのお声をかけていただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	10/3(火)、10/10(火)、10/17(火)、10/24(火)、10/31(火)
鳥海 真里	10/4(水)、10/11(水)、10/18(水)、10/25(水)
田中 典子	10/6(金)、10/13(金)、10/20(金)、10/27(金)

※大森三中相談室直通 電話(3773)7831

10月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日			
進路面談③ ⑥カット③	進路面談③始 ⑥カット③			避難訓練				振替休業日		学芸発表会合唱コンクール 弁当持参	合唱コンクール準備	合唱リハール			合唱朝練習解禁			合唱リハール①・② 漢字検定16:00〜	開校記念日 合唱リハール③	生徒朝礼	合唱練習始 安全指導 中央委員会	スポーツの日			英語検定③⑤⑥ 教職専門実習(終)	専門委員会(後期始)	職場体験②終 区教研小中連携	進路説明会⑤⑥③ 車山移動教室①終 職場体験②	①⑤復習確認テスト③ 車山移動教室①終 職場体験②				始業式

三日間を終えて 3年

修学旅行一週間前、私は不安でいっぱいでした。私は修学旅行実行委員長として事前準備を重ねてきました。月日が経つごとに実感がわき、緊張もし始めました。

当日、私は出発式で「実行委員長の言葉」で、学年のみんなの前で話しました。とうとう始まったのだと確信しました。

タクシー行動ではタクシーのガイドさんが京都について一つ一つ丁寧に教えてくださりました。

二日目の班行動は私が一番不安だった日でした。道に迷ったり、計画通りにはあまり行けませんでした。けれども班長を中心に班員で協力して、なんとか奈良の宿に着くことができました。

食事では、三日間食べたものすべてがおいしかったです。特に一日目の夕食では、クラスの女子みんなで大きい鍋で食事をしました。女子みんなテレビを見ながらお話をして楽しかったです。普段見られないクラスのみんなの新鮮な姿を見ることができておもしろかったです。

三日間を終え、少し失敗してしまった部分もあるけれど、やっぱり楽しかったという印象が一番ありました。たくさんの準備をしてきた分、みんなの楽しい笑顔を見ると、頑張ってたかなと思えました。三日間の濃いこの経験を忘れず、この先でも活かしていきたいと思いました。連れていってくれた母にたくさん話したいと思います。

修学旅行を終えて 3年

私はこの修学旅行で実行委員、班長になりがんばったことが3つあります。

一つ目は、実行委員でルール、持ち物決めです。アイロン、スマホなどの電子類はもちろんだめだけれど、写ルンですなどのカメラ、カードゲームなどの許容範囲や、新幹線ではどこから移動して良いかなどの細かい所まで決めるのをがんばりました。おこづかい決めでは、生徒と先生での意見が違って合わせるまで時間がかかったりして大変でした。

二つ目は、班でのコース、昼食決めです。コース決めでは、入カミス、無い駅があるなどで、エディックの入力が遅れてしまったり、昼食決めではみんなが食べたい物や、金額、場所などが合わず、なかなか決まらなくて、決めるのに時間がかかってしまいました。

三つ目は、当日の動きです。準備ではバスや電車の時間も決めていたし、一日目ではタクシーの運転手の人がいろいろつれていってくれたり、場所の説明などをしてくれました。それでも二日目はすべて自分たちで動くので、少しでも予定と違

うことがおきてしまったら、立て直すのが大変でした。それでも、がんばって予定通りの時間に帰ってくることができました。

この三つを通して、今まで「もう少しゆるくしてくれてもいいのに。」と思っていたことも、自分たちで決めたことで理由をちゃんと理解できたし、他の人に説明することもできるようになりました。この経験を活かして、これからの行事にも積極的に参加していきたいと思います。

修学旅行から学べたこと 3年

九月十日、私は、人生ではじめて京都へ足を踏み入れた。しかも、人生ではじめての修学旅行だった。はじめてのことばかりで緊張する気持ちが少し、これから三日間の楽しみを心待ちにする気持ちがたくさん。そんな気持ちでのぞんだ修学旅行、私個人としては学びあい、思い出ありの実りあるものにできたと思っている。

私が修学旅行で学んだことは、まず、古都の重要さだ。今まで授業で教えられていたので、歴史的な建物や街並みの大切さは知っているつもりだった。しかし、実際に京都、奈良へ行ってみると、椅子に座って勉強しているだけでは絶対にわからないことが見えてきた。昔から存在しているお寺や神社、街並み。現代の私たちには到底再現できないような、これらの技術や文化を知り、大切にしていきたいことが、とても重要なことと気づくことができた。

他にも、私が修学旅行から得たものがある。協力することだ。今回の修学旅行では班行動がメインだった。どこへ行くのか、何を食べるのか、どうやって行くのか、決めるのは自分たちだ。事前学習、そして当日の班行動で、私は班のみんなと今まで以上に協力して、修学旅行をよりよいものにできたと思う。

寺や神社の魅力を知り、仲間と協力し、おいしいものをたくさん食べ、お土産を山ほど買った、学びも楽しみも体験できた修学旅行だった。この三日間で学んだこと、そして大切な思い出を忘れずに残りの学校生活も努力していきたい。



3年生は 京都・奈良・大阪へ
9月10日(日)～
12日(火)に
修学旅行に行
きました。